1 基本構想策定の背景等

(1)基本構想策定の背景と目的

- ○名古屋市では、名古屋城及びその周辺の魅力の向上と賑わいを創出するとともに、 国内外からの来訪者へのおもてなしと名古屋の魅力を発信することを目的に、金 シャチ横丁構想を推進しています。
- ○同基本構想では可能なところから段階的に順次整備を進めることとしており、平成30年3月には第一期開業として、正門側に義直ゾーン、東門側に宗春ゾーンとして名古屋の食文化を楽しめる飲食施設等を開業したところです。
- ○引き続き、第二期整備として、前期に来場者が弁当等の食事をとりながらくつろ げる芝居小屋風多目的施設の整備を、後期に名古屋城や尾張名古屋の武家文化等 について理解を深める博物館を中心とした、学びと観光の総合ゾーンの整備を検 討しているところです。
- ○今回、今後更なる整備が進む特別史跡名古屋城跡や城を中心に育まれてきた尾張名古屋の武家文化等の価値と魅力をわかりやすく楽しみながら伝える博物館を中心としながら、名古屋観光をより充実したものとするための観光強化機能をあわせた「尾張名古屋文化の旅の基点」となるようエリア一体の整備方針等を基本構想として策定するものです。

(2)基本構想の位置づけ

- ○基本構想は、国が進める観光施策や博物館の在り方に 関する検討等にも留意しながら、本市の総合計画及び 「金シャチ横丁基本構想」等に基づき策定するもの です。
- ○策定にあたっては、「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」も踏まえ、名古屋城跡に隣接する立地条件等も考慮の上、エリア一体の魅力向上、賑わい創出を意識した計画としていきます。

名古屋市総合計画2023



金シャチ横丁基本構想



金シャチ横丁第2期整備 博物館ゾーン(仮称) 整備基本構想

【上位関連計画等】

| 計画名称 | 策定年月 | 計画期間等 | | | |
|-----------------|---------|------------------|--|--|--|
| 名古屋市総合計画2023 | 令和元年度 | 令和元年度~令和5年度 | | | |
| 名古屋市観光戦略 | 平成31年3月 | 令和元年度~令和5年度 | | | |
| 特別史跡名古屋城跡保存活用計画 | 平成30年5月 | 平成30年度~令和29年度程度 | | | |
| 金シャチ横丁基本構想 | 平成25年3月 | 開業可能なところから段階的に整備 | | | |

(3)名古屋城周辺を取り巻く環境

- ○名古屋城は慶長15年(1610年)に尾張徳川家の居城として築城されました。諸 大名20名を動員した公儀普請によって築かれ、日本最大級の延床面積を誇る天守 や近世城郭御殿の最高傑作とされる本丸御殿などがある日本を代表する城郭です。
- ○名古屋城では、平成30年5月に策定した「特別史跡名古屋城跡保存活用計画」に 基づき、世界に誇れる日本一の近世城郭を目指し、特別史跡名古屋城跡の保存と 活用に向けた整備を進めているところです。
- ○戦災により焼失した天守は昭和34年10月に再建され、博物館相当施設として名 古屋城の歴史などを紹介し、多くのお客様に親しまれてきました。同じく戦火に より焼失した本丸御殿の復元を進め、平成30年6月に完成公開を迎えた他、重要 文化財旧本丸御殿障壁画を収蔵展示する、米蔵を再現した御蔵城宝館が昨年11月 に開館したところです。
- ○現在、再建から半世紀以上が立ち設備の老朽化や耐震性の確保などの課題がある 天守の木造復元をはじめ、名勝二之丸庭園の保存整備や、本丸搦手馬出周辺石 垣の修復、表二の門の保存修理など尾張名古屋のシンボルである名古屋城跡の歴 史的・文化的な価値を伝えるとともに、その魅力を一層高め、後世に継承すべく、 文化財の保存活用を順次進めています。
- ○周辺においても、令和8年開催予定のアジア大会を見据えた愛知県体育館の移転 や名城公園北園の再整備、ホテルの建て替え、大学の開校など、更なる発展が 見込まれ、名古屋城へも一層多くの来場者の増加が期待できるところです。



2 金シャチ横丁第2期整備 事業概要

(1)金シャチ横丁基本構想の概要

- ○開府以降400年間培ってきた名古屋の文化と、それを支えてきた人のつながりや時代のつながりをじっくり「見て」、「知って」、「体感・体験」できる空間づくりと、名古屋の町の成り立ちや周辺とのつながりを学び、それをきっかけに周辺にも足を延ばしてもらえる"尾張名古屋文化の旅の基点"を創出していくことを目指しています。
- ○そのための具体的な事業展開として、名古屋城に近接した位置において、芝居小屋風の多目的空間や、展示空間、食・生活文化を堪能できる横丁「尾張名古屋文化の旅の基点」を創造する他、「東のゲートウェイの創出」、「能楽堂周辺の空間活用」、「回遊性のある利用者動線」、「本町通りのにぎわいづくり」、「周遊機能の充実」、「四季の小径づくり」など、多岐にわたる事業展開イメージを掲げ、開業可能なところから、段階的に整備することとしています。

(2)事業経緯

- ○庁内プロジェクトチームや有識者会議等による検討を進め、平成25年3月に「世界の金シャチ横丁(仮称)基本構想」を策定しました。
- ○平成25年度には、名称募集を行い、「金シャチ横丁」が正式名称に決定しました。 並行して平成25~26年度と社会実験を行ったのちに、平成27年度に事業者公募 を行い、平成30年3月に第一期開業しました。
- ○第一期事業では、『伝統・正統』をキーワードとし、なごやめしを中心に提供する老舗の飲食施等が集まる正門側の「義直ゾーン」と、『新風・変化』をキーワードとし、地元から全国や世界へ躍進中の若手経営者が創作する新しい食文化を提供する東門側の「宗春ゾーン」を整備し、賑わいを創出しているところです。
- ○現在、第二期整備に向けた調査検討を進めているところです。

【事業経緯】

| 年度 | 内容 | | | |
|---------|--|--|--|--|
| 平成24年度 | ・世界の金シャチ横丁(仮称)基本構想策定 | | | |
| 平成25年度 | ・まるはち博覧祭(二の丸東駐車場)開催【社会実験】 ・正式名称の公募、決定 | | | |
| 平成26年度 | ・楽しみん祭(正門前)開催【社会実験】・事業説明会開催 | | | |
| 平成27年度 | •事業提案募集 | | | |
| 平成28年度 | ・事業者の選定 | | | |
| 平成29年度 | ・第一期開業 | | | |
| 平成30年度~ | ・第二期整備 調査検討 | | | |

(3)第二期整備の概要

○名古屋城来場者の休憩所と飲食場所を充実させ、芝居等を楽しめる舞台も併設したおもてなし機能の強化を図る芝居小屋風多目的施設と名古屋城の収蔵品などを展示・活用し、名古屋城や尾張名古屋の武家文化等について展示を行う博物館を中心としたエリアー体の整備を行うものです。

展示施設(博物館構想)

名古屋城や尾張名古屋の武家文化への理解を深める博物館を中心と した**学びと観光の総合拠点**を整備

- ◆世界に誇れる日本一の近世城郭「名古屋城」の ガイダンス機能
- ◆名古屋城の収蔵品などを展示・活用
- ◆名古屋城に関する資料の収集・保管
- ◆受入環境・観光案内・周遊促進などの「旅の基点」 となる観光促進機能の強化
- ◆調査研究機能を併設した名古屋城の総合拠点



(敕借イメージ

芝居小屋風多目的施設【参考】

来訪者がくつろぎ、憩いとなる**名古屋城観光を支える<u>"おもてなし"</u> 空間**を整備

- ◆芝居小屋風の外観
- ◆休憩所と飲食場所を充実させ、名古屋城観光のおもてなし 機能の強化を図る
- ◆伝統芸能や時代に応じた興行により、にぎわいを創出し、 名古屋の文化芸術に親しむ機会づくりを推進する



(施設の外観イメージ

(4)整備構想策定までのスケジュール(予定)

| 【スケジュール】 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | ~ | 3月 |
|-----------------|----------|------|-------------------|------|-----------------------|-----|----------|-----|--------------|----------|
| (1)基本構想 の策定 | | 方向性の | \longrightarrow | -の作成 | 方向性₺ | 素案の | 作成 | | 重調整 の作成 等 | 策定 |
| (2)有識者会議 の開催 | ★ 第1回 | | | 1 | 育子 ★ 第2回 | | ★ 第3回 | | Ġ | ★ 第4回 |

※上記の会議以外にも必要に応じ現場視察や検討ワーキングを適宜開催